

医療被ばくをどう考えるか Part-2

～「医療被ばく記録手帳」をつけて無駄な被ばくを避けよう～

放射線被ばくによる発がんなどの危険（リスク）は、線量に比例して高くなり蓄積するので、「ある量以下だと安全」というしきい値はありません。したがって放射線はできるだけあびない方が良いのです。

しかし、日本では有効性がないと以前から分かっていた結核の胸部X線検査が今年まで義務づけられていましたし、肺がんや乳がんの検診もリスクを無視して進められています。被ばくによるがんや心臓疾患などは何年も経ってから発症します。それから対策をたてたのでは遅いのです。無駄な被ばくはできるだけ避けましょう。

そのために「医療被ばく記録手帳」をつけることを私たちは提案します。

プログラム

- 1部 放射線の線量値とそのリスクを知る
- 2部 放射線被ばくはなぜがんの原因になるのか
- 3部 「医療被ばく記録手帳」を使ってみて

主催： **高木学校** （発表者等詳細は裏面）

日時： 2005年 12月17日（土）

13:30 ~ 17:00

会場： **カタログハウス・ホール**
東京都渋谷区代々木2-12-2 （JR新宿駅徒歩7分）

料金： 前売り **大人 1300円 大学生 800円**
（当日精算は 大人 1500円 大学生 1000円）

申込： 郵便、ファックス、Eメールで必ず事前に申込み、下記にお振込み下さい。
郵便振替：口座番号 00150-8-28425



参加を希望される方は事前に高木学校事務局(担当:草野)まで、必ずご連絡下さい。

〒164-0003 東京都中野区東中野 1-58-15 原子力資料情報室内

TEL 03-5332-3227 FAX 03-5330-9530

E-mail takasas@jca.apc.org HP <http://www.jca.apc.org/takasas/>

高木学校事務局